

2026年4月30日

県内景況

株式会社 鹿児島銀行
株式会社 九州経済研究所

最近の県内景況は、畜産関連が持ち直し、消費関連は一部で持ち直している。一方で、観光関連は一服し、雇用関連は横ばい、生産活動は弱含み、投資関連は一部で低調となっている。全体として改善傾向はみられるが、今後のイラン情勢の影響などに注意する必要がある。

生産活動は、1月の鉱工業生産指数が2か月連続で前年を上回った。食料品、電子部品・デバイス、窯業・土石製品、汎用・生産用機械がいずれも前年を上回った。

畜産関連では、3月の肉用牛（和牛）枝肉価格は、去勢A5、去勢A4ともに前年を上回った。また、豚肉、ブロイラーもも肉、むね肉は前年を上回り、鶏卵相場は前年を下回った。

個人消費関連は、3月の乗用車新車登録台数、2月の百貨店・スーパー販売額は前年を下回った。一方で、2月の家電大型専門店販売額は前年をやや上回り、3月の軽自動車届出台数、2月のドラッグストア販売額、コンビニエンスストア販売額は前年を上回った。

観光関連では、3月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は、4か月ぶりに前年を下回った。種子島・屋久島地区は2か月連続で前年を上回り、奄美地区は6か月連続で前年を下回った。主要観光施設入場者数は、一部の調査対象施設で前年を上回った。

投資関連では、公共工事請負金額は前年を上回り、民間建築工事費予定額、新設住宅着工戸数は前年を下回った。

雇用情勢は、2月の有効求人倍率は前月と同じ1.05倍となった。

【生産活動】... 弱含み

1月の電子部品・デバイスの鉱工業生産指数は前年を上回った。ただし一部では、EV向けや5G関連の需要が回復していない。一方、スマホ向けなどでは底打ちの動きがみられるが、価格競争の激化や買い替えサイクルの長期化などにより、回復の時期が見通しづらい状況である。

2月の焼酎生産は、14か月ぶりに前年を上回った。県内への出荷が前年を大幅に下回り、出荷量は2か月ぶりに前年を下回った。

2月のかつお節生産は、5か月連続で前年を下回った。

3月の生コン生産（出荷量）は、公共工事向けが9か月連続で前年を下回り、民間工事向けは3か月ぶりに前年を下回り、全体では26か月連続で前年を下回った。

3月の紙パルプ生産は、前年をやや上回った。

木材関係は、スギの製品相場が前年を上回った。

【畜産関連】... 持ち直し

3月の子牛の出荷頭数は前年を下回ったが、出荷頭数の減少の影響により価格は前年を上回った。3月の肉用牛（和牛）の枝肉価格（東京食肉市場）は去勢A5、去勢A4ともに前年を上回った。2月の枝肉生産量はほぼ前年並みとなった。

3月の豚肉相場（東京食肉市場・上）は、9.8%増と4か月ぶりに前年を上回った。2月の枝肉生産量はほぼ前年並みとなった。

3月のプロイラー相場（東京地区）は、もも肉は9.9%増と18か月連続で前年を上回り、むね肉は26.8%増と18か月連続で前年を上回った。3月の処理羽数は前年を上回った。

3月の鶏卵相場（JA全農・東京M）は、生産量の回復や高値による買い控え等の影響により1.2%減と2か月連続で前年を下回った。2月の配合飼料価格は前年を上回った。

【消費関連】... 一部で持ち直し

2月の百貨店・スーパー販売額は、衣料品、飲食料品ともに前年を下回り、全体では2か月ぶりに前年を下回った。

2月の専門量販店販売額は、ドラッグストア、コンビニエンスストアは前年を上回り、家電大型専門店は前年をやや上回った。

3月の乗用車新車登録台数は、9か月連続で前年を下回った。車種別にみると、普通車は10.1%減、小型車が0.5%減となった。3月の軽自動車届出台数は2か月ぶりに前年を上回った。

【観光関連】... 一服

3月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は、4か月ぶりに前年を下回った。県の宿泊支援が終了し、九州地区などの国内客の入り込みが減少したほか、中国、香港からの入り込みが減少した。

鹿児島地区は、中国、香港からの入り込みや団体客が減少し、4か月ぶりに前年を下回った。

霧島地区は、九州からの入り込みや個人客、団体客ともに減少し、4か月ぶりに前年を下回った。

指宿地区は、インバウンドや団体客が減少し、2か月ぶりに前年を下回った。

種子島・屋久島地区は2か月連続で前年を上回り、奄美地区は6か月連続で前年を下回った。

3月の主要観光施設入場者数は、一部の調査対象施設で前年を上回った。

【投資関連】... 一部で低調

3月の公共工事は、件数、請負金額ともに前年を上回った。

2月の民間建築工事着工は、棟数、床面積、工事費予定額ともに前年を下回った。

2月の新設住宅着工戸数は、前年を大幅に下回り、33.2%減となった。持家は前年を上回ったものの、貸家、分譲が前年を大幅に下回った。3か月移動平均は前年を大幅に下回り、23.1%減となった。

3月の主要建設資材卸売業者の売り上げは、2か月連続で前年を上回った。

【貿易関連】... 輸出額は前年を上回り、輸入額は前年を下回った

2月の輸出額は、木材が前年を下回ったものの、ゴムタイヤ及びチューブはほぼ前年並み、パルプ及び古紙、食料品及び動物が前年を上回り、全体では9.0%増と7か月連続で前年を上回った。輸入額は、原油及び粗油、穀物及び同調製品が前年を下回り、全体で13.7%減と3か月連続で前年を下回った。

【雇用情勢】... 横ばい

2月の有効求人倍率は前月と同じ1.05倍となった。県内求人数を業種別にみると、製造業、卸小売は前年を上回り、建設業は前年を下回り、医療・福祉はほぼ前年並みとなった。

【金融情勢】... 貸出金残高は前年を上回った

1月の県内金融機関の貸出金残高は前年を1.3%上回った。

【企業倒産】... 倒産件数は前年を下回った

3月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が6件で前年同月（9件）を2か月ぶりに下回った。また、負債総額は7億95百万円で前年同月（20億25百万円）を下回った。

以上

【本件に関するお問い合わせ】 (株)九州経済研究所 (Tel 099-225-7491)